

研究所日誌

1994年12月

- 1日 労働者協同組合グループ世話人会議〈東京・パラマウント製靴〉。
- 2日 「'94東京自治フォーラム」、全体講演：宮崎義一、教育・文化の分科会にて高齢者協同組合の報告などがあり、協同と公共の関係、高齢者文化について論議される（～3日、箱根）。
- 7日 東京福祉環境会議世話人会（共作連本部）。
- 8日 伊藤博義元宮城教育大教授と懇談〈仙台〉。
- 9日 労協連、労働組合問題交流会。
- 10日 労協連、労働組合問題委員会。
- 13日 労働者福祉研究協会、研究例会。
- 14日 シンポジウム「雇用不安と労働の未来」第6弾東京集会の打ち合せ会議〈東京地評〉。
- 15日 協同組合研究機関の交流会議。高齢者福祉の調査研究に関する情報交換会として農協共済総研、農林中金総研、農村金融研究会、地域社会計画センター、協同組合経営研究所、生協総研と協同総研が出席〈農協共済総研会議室〉。
「埼玉協同のつどい」事務局会議〈浦和〉。
- 16日 岡真人横浜市立大学教授の紹介でパース教授（マサチューセッツ大学）と労働者協同組合・高齢者協同組合について懇談、センター事業団の事業所を案内。
- 17日 労働者協同組合グループ世話人会議〈東京・パラマウント製靴〉。
- 20日 石見尚氏らと労働者協同組合の法制問題研究懇談会。今後、労協法の内容検討、立法化への課題と方策などについて研究会を継続する〈研究所〉。
- 21日 「いま『協同』を問う'94全国集会」総括実行委員会〈名古屋・愛知高齢者事業団〉。自交総連大分地連の高野修氏らのよびかけで「大分県協同のつどい」を開催、講演：黒川俊雄（本誌、高野氏小論参照）〈大分市〉。黄柳野高校設立が愛知県より正式に認可される。1995年4月1日、正式発足、開校。今後、協同総研でも学校運営、教育内容について検討しながら黄柳野高校を推進する援助をおこなっていく。
- 22日 「労働組合運動と協同」研究部会例会〈東京・明治大学〉。
- 24日 雇用シンポジウム東京集会の打ち合せ会議。3月4日、神田パンセ（旧労音会館）にて東京地評などと共済で開催することに決定〈労協本部〉。
- 26日 第3回常任理事会。「いま『協同』を問う'94全国集会」の東京での総括会議を兼ねる。合わせて「労働組合運動と協同」研究部会のあり方について討議〈新宿消費生活センター〉。
- 27日 黄柳野学園構想を進める政策プロジェクト会議〈労協本部〉。
埼玉県高齢福祉課にホームヘルパー養成講座の開催について要請〈浦和市〉。
『協同の発見』第33号（1994年12月号）発行。
- 28日 研究所事務局の仕事納め。

（P19より）

その為の体制づくりは、まず経営陣の思想改革に始まり、ついで志を同じくするグループづくりとして前記地方自治体・経済団体に加えて、学識経験者や社会文化活動のオピニオンリーダーも広く包含してゆく構えが欲しいものである。

この度の兵庫県南部地震による被災の皆様には心よりお見舞申し上げます。会員の方々のご消息について情報がありましたら協同総研事務局までご一報下さい。

1995年1月18日

協同総合研究所 理事長 黒川俊雄